光明山古墳発掘通信　№4

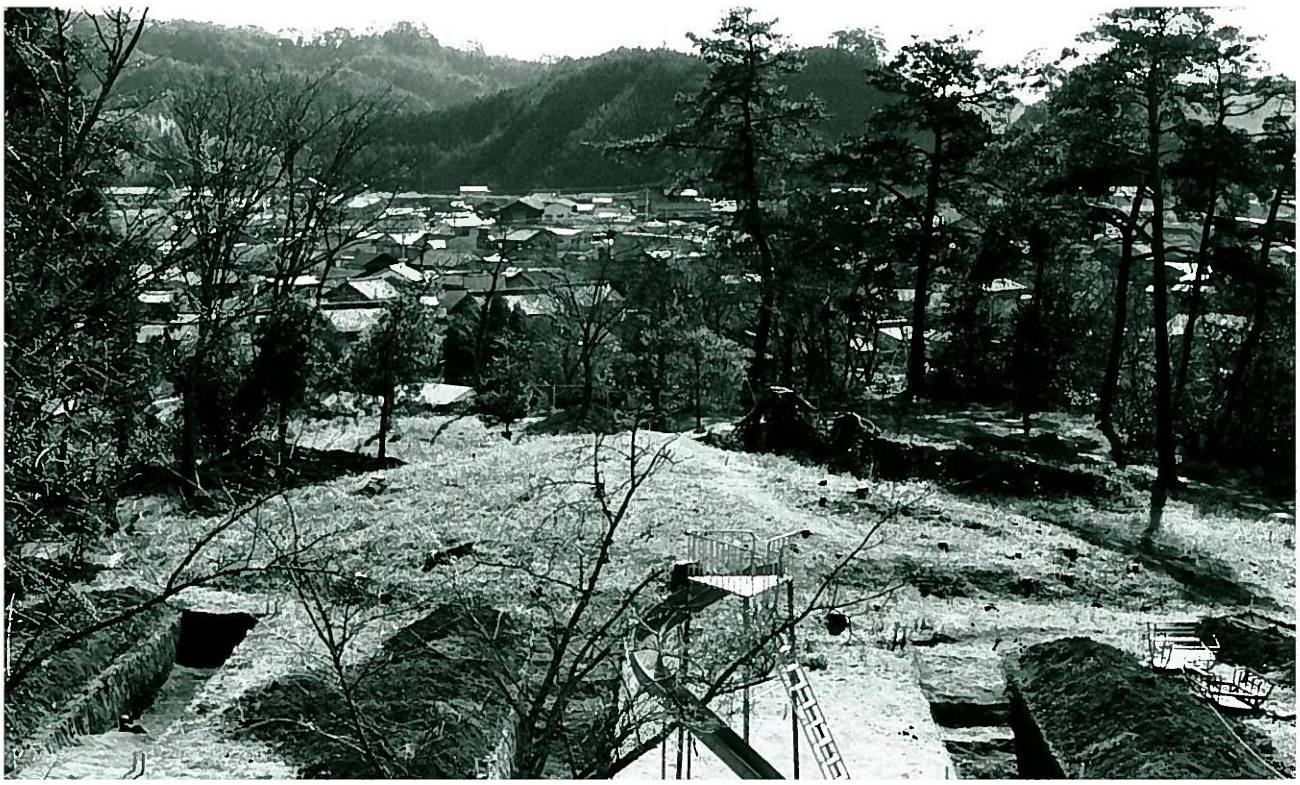
浜松市文化財課（浜松市地域遺産センター）　2018 年 11 月 8 日

光明山古墳の発掘調査、再び始めました。

11 月から光明山古墳の発掘調査を再開いたしました。今回の調査目的は、古墳の全長解明。後円部の先端と前方部の斜面及び先端に調査区を設け、正確な規模の把握を目指します。

前方部の調査風景　前方部も後円部と同様、２段につくられていた可能性が高く、その詳細を探っています。

前方部斜面の調査状況　前方部斜面にも葺石がみられます。葺石の残存状況を確認するため、慎重に調査を進めます。



光明山２号墳の調査状況（1971 年撮影）。　前方後円墳（１号墳）の南には光明山２号墳があります。1971 年の調査状況から、この古墳は直径 32ｍの円墳で、南側には造り出しと呼ばれる突出部があることが判明しています。

【現地説明会のご案内】

◆11 月 23 日（祝・金）に市民向けの現地説明会を行います。
　午前 10 時から　、午後 1 時 30 分から　申込不要　直接現地へ

【調査中は発掘調査現場をご見学いただけます】

◆11 月下旬までの調査期間、来訪者の方には調査状況を紹介いたします。
※雨天時は休工します。
※都合により作業を休止することがあります。
※発掘調査現場には段差や傾斜等があり、大変危険です。無断での立ち入りはご遠慮ください。

問い合わせ　　浜松市地域遺産センター　電話　053－542－3660